

平成14年度全国高校総合体育大会第55回全国高等学校バスケットボール選手権大会

平成14年 8月4日 (日)

会場 日立市市民運動公園中央体育館

【男子の部】 第3日目 Aコート 第3試合

チームA 育英 兵庫	73	{ 11 2Q 36 28 3Q 26 18 4Q 41 OT	131	チームB 福岡大学附属大濠 福岡
-------------------------	-----------	---	------------	-------------------------------

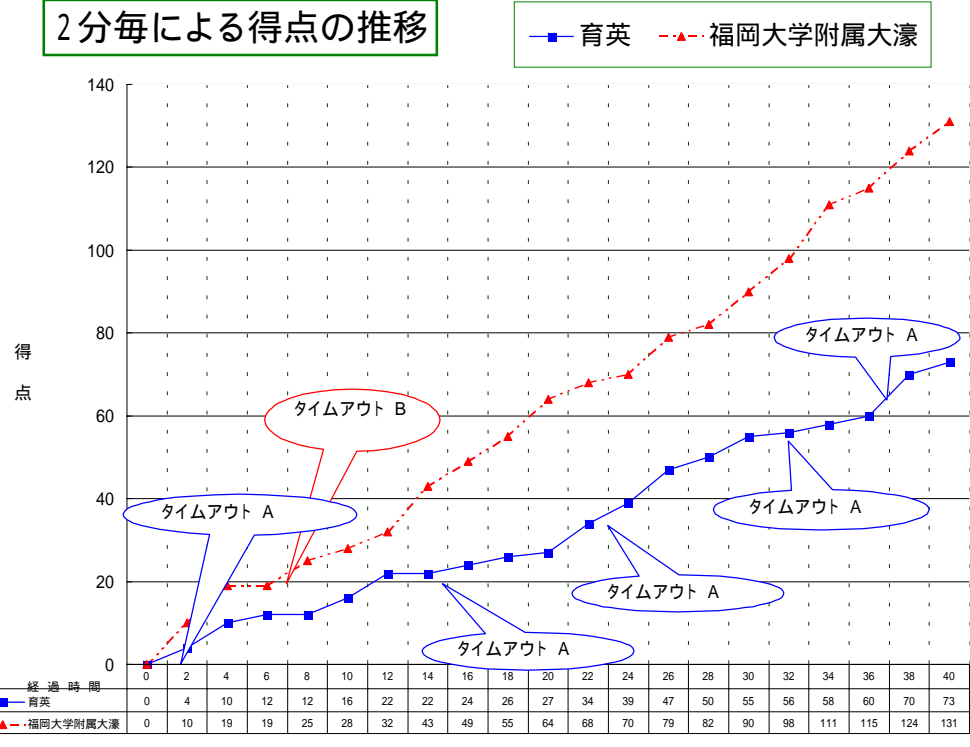
育英

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	南川 健	0	0	5	0	2	0	0	1	0	1	2	0	0	0	12
5	高橋 由城	3	1	5	0	4	0	2	4	2	1	2	0	2	0	18
6	石原 徳也	3	0	2	1	6	1	2	3	1	1	3	2	5	0	21
7	大河内 要	3	1	2	0	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
8	福島 正之	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
9	椿本裕一朗	2	0	0	1	1	0	0	5	1	1	0	1	0	0	7
10	榊原 啓貴	2	0	0	1	4	0	0	1	0	0	2	0	1	1	8
11	川崎 雅俊	10	0	0	4	7	2	4	4	3	2	8	2	1	0	30
12	熊谷 宜之	22	4	12	4	12	2	2	1	5	7	3	1	1	0	33
13	高橋 得人	6	0	0	3	5	0	0	2	1	1	1	1	2	0	14
14	熊谷 典之	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	1	14
15	山根 広和	22	0	0	11	18	0	0	2	3	10	1	2	0	1	35
コーチ	森 祥治								0							
		73	6	29	25	62	5	10	24	16	25	29	9	12	3	200
		確率	20.7%		40.3%		50.0%		計	41						

福岡大学附属大濠

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	ブロックショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	酒井 泰滋	27	3	6	8	11	2	3	3	2	3	1	0	3	2	31
5	松本 怜	38	4	11	10	20	6	7	4	1	0	2	9	7	0	34
6	阿部 勇氣	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
7	田上 順一	22	0	1	9	17	4	9	2	1	3	1	1	0	5	34
8	清水 青磁	4	0	0	2	4	0	0	1	1	1	0	1	0	0	6
9	寒竹 隼人	8	0	0	4	8	0	2	2	1	6	6	4	0	2	34
10	岡田 大地	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
11	児嶋 修平	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	5
12	竹野 明倫	10	2	5	1	5	2	2	2	2	4	4	2	5	0	31
13	堤 啓士朗	7	0	0	3	5	1	5	1	2	1	0	3	3	1	9
14	山下 泰弘	13	1	1	4	5	2	3	1	0	3	1	3	1	0	10
15	福田進之助	2	0	1	1	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	2
コーチ	田中 国明								0							
		131	10	25	42	77	17	31	18	11	22	16	27	20	10	200
		確率	40.0%		54.5%		54.8%		計	33						

2分毎による得点の推移



戦評

第1P、福岡は#5松本の3Pを皮切りに、厳しいディフェンスからスティール・速攻で次々と得点を重ねる。対する育英は、#12熊谷、#15山根のシュートが確率良く決まり反撃するが、福岡の2-2-1ゾーンプレスに苦しむ。終止、福岡ペースで第1P終了。

第2Pに入り、さらに、福岡が勢いづく。#5松本の巧みなスティールからの速攻や3Pなどで、怒涛の連続21得点を決め試合の大勢を決めた。

第3Pは育英が#12熊谷が3Pを連発、#15山根のミドルシュートも効果的に決まり、意地を見せる。しかし福岡もPG#5松本のアシストから#4酒井、#9寒竹らが次々と得点を重ね、育英が主導権を握るまでには至らない。この第3Pは育英が2点縮め、92-55福岡リードで第3P終了。

第4Pは出だしから福岡が猛攻。#5松本から#4酒井へのホットラインが次々と決まり、場内を沸かせる。育英は最後まで福岡のディフェンスに苦しむ、131-73と福岡の圧勝で終わった。特に#5松本の攻守にわたる活躍が光った。(38得点、7アシスト、9スティール)対する育英も、特に健闘の光った#12熊谷、#15山根がまだ2年、1年であり今後の成長に期待できる内容であった。

主審 吉岡 康元

副審 高橋 伸次

記入者 中山 徹也